



クリタグループ会社案内
2019-2020

A. Water

目次

メッセージ	03
社会との共通価値の創造	05
01 水資源の問題を解決する	07
02 持続可能なエネルギー利用を実現する	09
03 廃棄物を削減する	11
04 産業の生産技術を進歩させる	13
お客様が求める価値の創出	15
総合ソリューション	17
海外事業	21
研究開発	23
CSR	25
沿革	27
グループネットワーク	29
栗田工業国内事業所	31
企業情報	33

水で答えを出していく お客様と、社会とともに

あらゆる産業のなかを今日も流れ、めぐっているもの、
社会の問題を解決に導く大きな可能性をもったもの、
それは「水」です。

私たちクリタグループの使命は、
水処理で培った技術を広く応用しながら、
水を通じて、自然環境と人間社会の
共存、共栄に貢献していくこと。

水資源の不足や地球温暖化といった社会の問題に対して、
私たちができることは何かを考え、
クリタグループにしか提供できない価値を追求していきます。

お客様と社会とともに、水で答えを出していく、
水で世界を変えていく、
それが私たちクリタグループです。

A. Water



「水と環境の 独創的価値の創造者」を 目指して

当社は、1949年に創業して以来、一貫して水と環境に関わる課題解決を通じて、産業や社会の発展に貢献してまいりました。活動の舞台は国内から海外へと大きく広がり、グローバル企業としてさらなる成長を目指しています。創立70周年を迎えた今、私たちは水処理のリーディングカンパニーとして、新たな価値を創出し、世界中のお客様のニーズや社会の要請に応えていきたいとの思いを新たにしています。

近年のグローバリズムやデジタル化の急速な進展は、経済・産業の発展だけでなく、社会そのものの在り方にも影響を与え、地球環境における新たな問題も生み出しています。社会が複雑化し、求められる価値も多様化するなど、私たちを取り巻く環境はすさまじいスピードで変化し、予測不可能な時代を迎えているといえます。

このような状況下で、クリタグループは2018年4月にスタートした中期経営計画「MVP-22(Maximize Value Proposition 2022)」において、企業理念「“水”を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する」に込められた使命を見つめ直し、CSRをクリタグループの社会への影響に対する責任と定義し、経営戦略の中核に位置付けました。地球規模の課題へのイノベーションが求められる中で、企業ビジョンで掲げる「水と環境の独創的価値の創造者」として、当社グループと社会との共通価値の創造に総力を挙げて取り組んでいます。「水資源問題の解決」「持続可能なエネルギー利用の実現」「廃棄物の削減」「産業の生産技術進歩」に取り組むべき社会的課題と捉え、求められる価値の本質を見極め、クリタにしか成し得ない価値を実現していきたいと考えています。

クリタグループはこれからも、水と環境という事業領域で、水処理薬品、水処理装置、メンテナンス・サービスを併せ持つ水処理企業として、価値創出型の総合ソリューションを提供し続けることにより、顧客親密性を最大化し、世界中のステークホルダーから、信頼を獲得できる存在になることを目指していきます。

皆様からの一層のご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長

門田道也

企業理念

“水”を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する。

水を通じて、社会との共通価値を創造することで、自然環境と人間社会の共存、共栄に貢献していく。

水の本質を深く、広く探究することによって、水の新しい機能、価値を生み出していく。

社員一人ひとりがお客様の視点に立ち、クリタの独自の技術、商品、サービスを駆使し、お客様の水と環境の課題解決に邁進していく。

企業ビジョン

持続可能な社会の実現に貢献する「水と環境の独創的価値の創造者」

クリタグループは、イノベーションを継続し、自然環境、産業、人々の生活に貢献する事業を通じて、環境の保全や資源の有効活用といった社会との共通価値の創造に取り組み、企業理念を実現していく。

クリタグループは、お客様の無二のパートナーとして「安全性の追求」「生産性の向上」「環境負荷低減」といったお客様の価値を創造していく。

クリタグループは、「サービス事業」をさらに進化させ、薬品、装置、メンテナンスの技術、商品、サービスを駆使した総合ソリューションを、お客様に最速で提供していく。

持続可能な社会の実現に向け、お客様へ価値を提供していく

クリタグループは、お客様が求める価値を提供し、その先にある社会との共通価値の創造を目指しています。私たちだからできる水と環境のソリューションを提供し、未来への責任を果たしていきます。

Society 社会

01 水資源の問題を解決する



02 持続可能なエネルギー利用を実現する



03 廃棄物を削減する



04 産業の生産技術を進歩させる



社会との共通価値の創造

Customers お客様

節水・水資源の有効利用

省エネルギー

廃棄物の削減・再資源化

生産効率・製品品質の向上

お客様への価値提供

社会とお客様にとっての共通課題の明確化



KURITA GROUP

社会との共通価値の創造

人々の生活や産業を
持続させていくために、
欠かせないものは何か。

A. Water



水の再利用を可能にする排水回収システム

01 水資源の問題を解決する

水は絶えることなく地球上を循環し、人々の生活や産業を支えています。しかし、この水資源の需要と供給のバランスが崩れつつあります。世界の至るところで水不足の問題が深刻化し、一刻も早い解決が求められています。

クリタはこれまでも、お客様とともに、工場の製造工程排水を100%リサイクルするなど、水を極限まで有効に利用する技術を生み出してきました。節水・浄化・再利用技術を広く適用することで、人々の生活や産業の発展に必要な水を確保し、水資源の有効利用を実現します。そして、これら一つひとつの取り組みが、地球の水資源の循環を支えています。

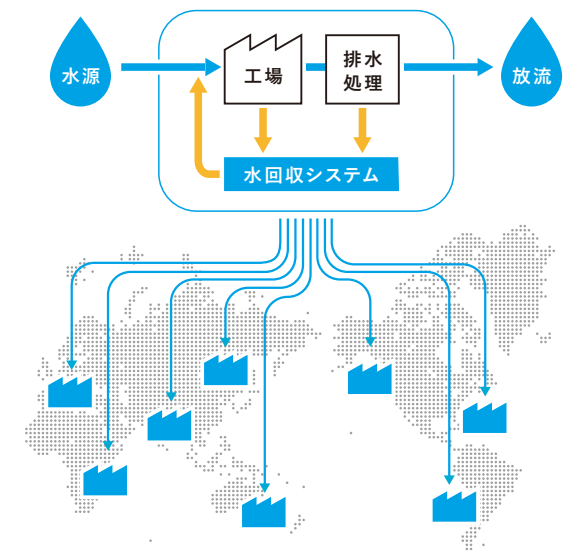
Our Approach

クリタのアプローチ

「水の回収・再利用」の価値をあらゆる産業、地域に提供する

水が不足する地域、お客様において、「水の回収・再利用」により、水資源の需要と供給のバランスが取れた状態を実現していくために、クリタは、薬品と装置、双方の技術・ノウハウを融合し、IT・センシングなど最先端のテクノロジーを組み込んだ新たな「排水回収システム」を開発しました。どのような排水にも対応でき、全てのお客様にシンプルで使いやすいシステムを提供することができれば、あらゆる産業、地域において「水の回収・再利用」による価値を創出することが可能になります。

地球規模での水資源問題の解決を使命と受け止め、人々の生活と産業の発展に必要な水を確保し、有効利用するための挑戦を、クリタは続けていきます。



世界中のあらゆる産業・地域へ

無駄なく有効に
エネルギーを使うための、
鍵となるものは何か。

A. Water

02 持続可能なエネルギー利用を 実現する

世界人口の増加とともに、エネルギー需要は拡大し続けています。それに伴い、温室効果ガスの排出量が増加し、地球温暖化など大きな気候変動をもたらすといわれています。持続可能な社会の実現に向けて、無駄のないエネルギーの使い方を考え、生活や産業におけるエネルギー使用をいかに最適化できるかが、社会的なテーマとしてクローズアップされてきています。

クリタは創業以来、ボイラなど各種設備の省エネルギーに貢献する商品・技術を提供してきました。お客様とともに、エネルギーの有効利用を追求し、“水”の技術をベースにして“熱”エネルギーを無駄なく使う取り組みにも注力しています。

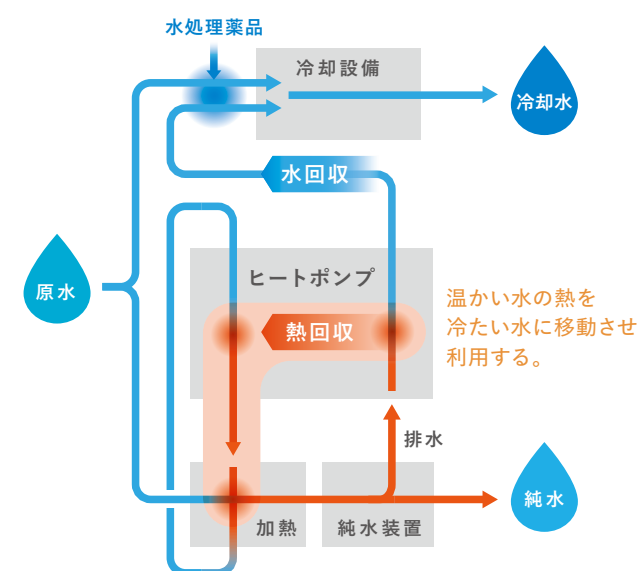
Our Approach

クリタのアプローチ

工場全体の水と熱の最適利用を実現する

工場では、加熱や冷却を行うための蒸気や温水、冷水をつくる際に、膨大なエネルギーが消費されています。エネルギーを無駄なく使うためには、水処理薬品によるボイラや冷却塔、製造プロセスなど工場設備の熱効率の改善に加え、大気や水中の熱を回収し、エネルギーとして有効利用することが必要です。クリタは、「ヒートポンプ」を用いて温かい水から冷たい水へ熱を効率よく移動させることにより、水だけでなく、水の中に含まれる熱までも無駄にしない取り組みに注力しています。

工場全体の水と熱の最適利用を推進し、クリタは持続可能なエネルギー利用を実現していきます。



熱効率を改善するボイラ設備

何も捨てるもののない循環を、
実現するものは何か。

A. Water

廃棄物からバイオガスを発生させるメタン発酵設備

03 廃棄物を削減する

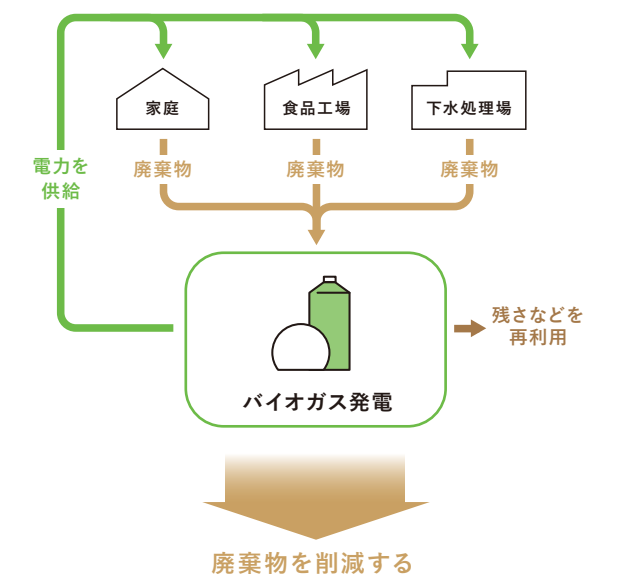
社会における大量生産・消費のシステムが日々生み出している廃棄物は、自然環境の汚染、生態系の破壊などをもたらし、地球環境に負荷を与えています。この問題の解決に向けて、廃棄物の削減や、資源の循環利用を促進する取り組みが求められています。

クリタはこれまで、生物処理などの特長ある水処理技術を用いて、工場排水の処理過程で発生する廃棄物の削減や、廃棄物を再資源化する取り組みを進めてきました。お客様や地域社会とともに、「廃棄物ゼロ」を実現するためのソリューションを今後も提供していきます。

Our Approach クリタのアプローチ

地域全体で、資源循環型社会をつくりあげる

クリタは、単に工場の廃棄物を減らすだけではなく、地域全体で廃棄物を減らし、資源として循環させる仕組みづくりを目指しています。その中心となる技術が「バイオガス発電」です。工場の産業廃棄物や家庭の生ごみなど、地域から集めた廃棄物をメタン発酵させ廃棄物を削減するとともに、生成したバイオガスを原料として発電を行い、得られたエネルギーを地域に供給します。さらに、発生する残さを建設資材などに再利用することも可能となります。廃棄物の引き受けから再資源化に至る取り組みをベースに、地域とともに新たな資源循環型社会の構築を目指していきます。



世界の工場に次の革新をもたらすものは何か。

A. Water



IoTを活用した水処理状況の見える化

04 産業の生産技術を進歩させる

あらゆるモノがインターネットとつながるIoTやAIの進化は、産業に大きな変化をもたらすといわれています。IoTを導入したスマートファクトリーでは、工場内の全ての事象をデータ化し、生産性や品質の向上、資源・エネルギーの有効利用などを実現しています。

現在クリタは、IT・センシング技術をソリューションの基盤と位置付け、独自のシステムを構築し、水処理の状況が見える化するサービスを展開しています。お客様の製造プロセスとユーティリティの水処理を行ってきたクリタには、水に関わる膨大なデータがあります。水処理設備だけでなく、工場全体の設備の効率化や安定運転につなげていくことを目指しています。

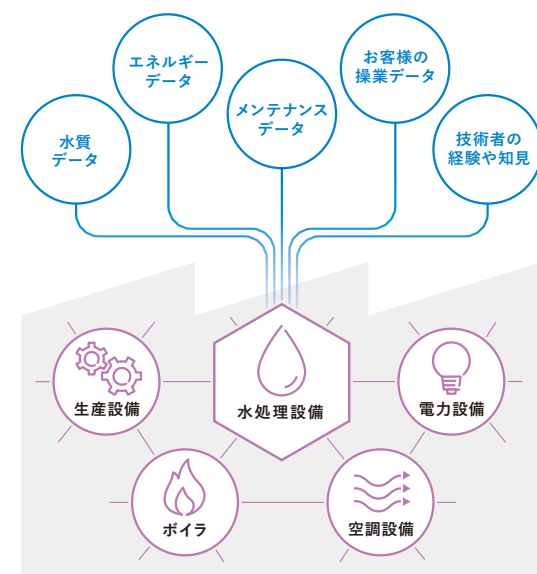
Our Approach

クリタのアプローチ

お客様とともに、スマートファクトリーの実現を目指す

クリタはこれまでも、水質や運転データを解析して水処理設備のトラブルを予防したり、お客様の製造データとの相関を分析して生産効率の向上に寄与してきました。今後は、IoT/AIを駆使して、工場全体での最適な水処理を追求していきます。水質データや設備のメンテナンス履歴、エネルギーの使用状況に加え、長年にわたる水処理の経験・ノウハウもデータ化し、全てを解析・制御することで、水処理設備の自動運転や、お客様の生産に与える影響をリアルタイムに反映した付加価値の高いソリューションの提供を目指しています。

クリタは、お客様とともに「スマートファクトリー」を実現し、世界の工場の生産技術革新に貢献していきます。



IoT/AIを用いて工場全体の水処理を最適化

クリタグループのあらゆる力を結集し、 新たな価値を創出する

クリタグループは、お客様のあらゆるニーズに応じていくために、持てる力を結集し、水処理薬品、水処理装置、メンテナンス・サービスの多様な商品・サービス、技術を融合した総合ソリューションを提供します。従来の事業の枠にとらわれず、商品・技術の単なる提供にとどまらないビジネスモデルをつくりあげ、お客様と社会に貢献する新たな価値の創出を目指しています。



**KURITA
GROUP**

Customers

お客様が
求める価値

- 節水・水資源の有効利用
- 省エネルギー
- 廃棄物の削減・再資源化
- 生産効率・製品品質の向上

総合ソリューションを実現するクリタの事業

クリタグループの総合ソリューションを可能にするのが水と環境に関わる幅広い事業領域です。水処理薬品、水処理装置およびメンテナンス・サービスの主力事業に加えて、汚染された土地を浄化する土壌・地下水浄化事業や、お客様が求める「水」そのものを販売する超純水供給事業、さらには、お客様の装置部品をクリタグループの工場で洗浄する精密洗浄や水質・環境分析などの事業を手がけています。



お客様が求める価値の創出

一つひとつのソリューションを融合し、 「総合ソリューション」を提供する

クリタは、あらゆる産業における工場の入口から出口まで、処理対象となる水系別に豊富なソリューションを有しています。お客様の課題を解決する一つひとつのソリューションを融合し、「総合ソリューション」として提供することで、さらなる価値を創出します。



節水・水資源の有効利用

お客様が使用する水の量を最小限に抑え、水資源の有効利用を実現するソリューションを提供します。

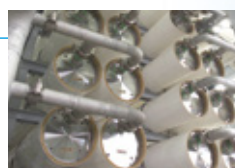
● RO膜(逆浸透膜)処理

水処理薬品を用いて、排水回収や海水淡水化で使用されるRO膜のろ過性能を低下させる懸濁物質を除去し、膜への汚れ付着を防止します。



● 排水回収

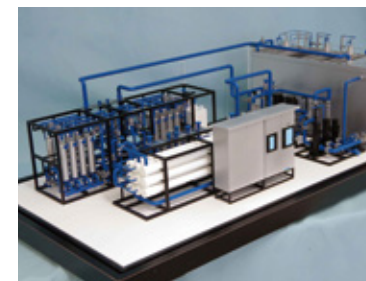
排水を回収・再利用する水処理システムを用いて、水資源の有効利用に貢献します。



総合ソリューション

事例 | 再生水供給サービス

工場で発生する多種多様な排水を回収し、製造工程等で再利用可能な水質まで浄化した水(再生水)をお客様に供給するサービスです。薬品、装置、IT・センシング技術を融合した排水回収システムを工場敷地内に設置し、運転管理からメンテナンスまでの全てを当社が実施することで、あらゆる業種、お客様における水資源の有効利用に貢献します。



省エネルギー

水処理設備において高い省エネルギー効果を発揮し、安定かつ効率的稼働に貢献するソリューションを提供します。

● ボイラ水処理

ボイラで発生するトラブルを抑え、効率良く運転するための水処理薬品を用いて、熱効率の低下を防止します。



● 冷却水処理

工場やビルの冷却設備で水処理薬品を用いて、水に起因するトラブル防止や省エネルギーに貢献するとともに、レジオネラ菌の増殖を防止します。



● 船舶関連水処理

船舶向けの水処理薬品・装置を提供し、省エネルギーの実現を通して船舶の安全運航に貢献します。



● 化学洗浄・プラント設備洗浄

発電所やコンビナートなどの大型プラントを安全かつ効率的に稼働させるため、ボイラや熱交換器、配管に蓄積した汚れを薬品や高圧水により洗浄します。



総合ソリューション

事例 | 地熱発電プラント向けソリューション

再生可能エネルギーとして利用促進が期待される地熱発電向けの水処理薬品「Kuritherm(クリサーム)」を開発。本商品を用いて、省エネルギーに寄与する新たなソリューションの提供を開始しました。地熱発電プラントの配管や熱交換器へのスケールの付着を防止し、従来課題であった地中に戻す熱水(蒸気)の熱交換を維持。より効率的な地熱発電を実現し、省エネルギーと持続可能なエネルギー利用に貢献します。

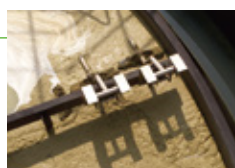


廃棄物の削減・再資源化

廃棄物を削減し、新たな資源として再資源化を実現するソリューションを提供します。

● 排水処理

様々な産業排水を浄化する水処理システムや、懸濁物質除去や污泥脱水、消臭・脱臭などに効果を発揮する水処理薬品を用いて、適切な排水処理を行います。



● 土木建築関連処理

各種薬品を用いて、緑化促進や建設汚泥の適切な処理、吹き付けコンクリート用粉じん低減などを実現します。



● 焼却・バイオマス発電関連処理

飛灰中の重金属など有害物質の安定処理や、ダイオキシンの排出を抑制する薬品を用いて、環境負荷の低減に貢献します。



総合ソリューション

事例 | メタン発酵システム

廃棄物をメタン発酵させ、再生可能エネルギーであるバイオガスを生成させる「メタン発酵システム」。クリタは、「乾式」「湿式」、双方のメタン発酵技術を有し、排水処理で培ってきた生物処理の知見を活かして、お客様のバイオマス原料に応じた最適な処理システムを提供することで廃棄物の再資源化を実現します。また、湿式メタン発酵で発生する高濃度排水を高効率に処理する脱窒システム「ANAMMOXプロセス」などの保有技術を組み合わせ、廃棄物のさらなる削減を行っています。





生産効率・製品品質の向上

お客様の製造プロセスにおいて、生産効率や製品品質の向上に貢献するソリューションを提供します。

● 石油・鉄鋼・紙パルプ向けプロセス処理

石油精製・石油化学、鉄鋼、紙パルプ産業の製造工程において、水処理薬品を用いて生産効率や製品品質の維持・向上に貢献します。



● 超純水製造

様々な技術を駆使した水処理システムにより、不純物を極限まで取り除いた理論純水に限りなく近い水をつくります。お客様の製品の洗浄に使用され、歩留まりの向上に貢献します。



● 精密洗浄

半導体や液晶ディスプレイなどの製造装置の部品・治具に付着した汚れを、お客様に代わってクリタの工場ですべて洗浄・除去します。



● 自動車塗装ブース処理

自動車の塗装ブースで水中の余剰塗料を分離する水処理薬品を用いて、循環水質を適正化し、生産ラインのトラブルを防止します。



● 各種産業向け水処理

水処理システムを用いて、注射液や目薬などの医療用水、食品や飲料の製造用水、電力や鉄鋼産業向けのボイラ用水など、様々な産業の用途に応じた水を製造します。



総合ソリューション

事例 | 超純水供給

お客様の工場内にクリタが設備を建設・保有し、水処理を一括して請け負う超純水供給サービスは、水質・水量が保証された超純水を常に供給し続けることで安定した製品品質を支え、生産効率向上にも貢献します。これまで蓄積してきた水処理薬品・装置および運転管理のデータやノウハウを活かし、水質・水量の変動に伴う水処理装置の運転を最適に制御することで、供給水量に対する電力や蒸気などのエネルギー消費量を削減しています。さらに、IoT/AIを活用して、純水の送水温度や水量、排水負荷などのデータを解析し、水処理装置の安定運転やエネルギー利用の最適化を実現するためのソリューションを進化させています。



事例 | KURITA DWテクノロジー

蒸気が凝縮する熱交換器の金属表面に撥水性をもたせ、熱抵抗となる水の膜を安定的に除去することで、熱伝達率を向上させる「KURITA DWテクノロジー」。本薬品は撥水機能を有し、初期処理などの煩雑な手順を必要とせず、対象熱交換器直前の蒸気ラインに連続添加するだけで効果を発現するため、生産設備を稼働させたまま適用できます。このソリューションを紙・パルプをはじめとする様々な業種に展開しています。



その他のソリューション

お客様が求める価値を実現するためのソリューションを幅広く提供します。

● 土壌・地下水浄化

有害物質で汚染された土壌・地下水の調査・浄化を行い、お客様の土壌・地下水汚染リスクの低減を図ります。また、不動産取引にかかる土壌汚染リスクの診断や、浄化した土地の有効利用のサポートも実施しています。



● 水質分析・環境分析

超純水から排水まで、様々な用途や性質の水に関わる分析・試験を行っています。また、大気、ガス、土壌といった環境分析、医薬品や化粧品の水質分析・受託試験などを幅広く展開しています。



● 水処理施設の運転・維持管理

用水や排水処理装置の運転管理や施設の補修・修繕・改善工事など、お客様に代わって水処理施設に関わる様々な管理を請け負います。



● 業務用および家庭向け水処理

ホテルやレストラン、一般家庭向けの浄水器や軟水器のほか、フィルムパック飲料水の製造・販売を行っています。



● プール関連

プールやウォータースライド、噴水など設備の設計・施工から、アフターサービス、運転管理まで幅広く提供します。



● 薬注管理・制御

薬品注入装置やボイラ・冷却水の自動水質管理システムなどの機器類を用いて、最適な水質管理や設備の安定運転を実現します。



IT・センシング技術を駆使した水処理管理

独自のセンシング機器をお客様の工場設備に取り付け、水質などを遠隔監視することでリアルタイムに最適な水処理を行う「S.sensing」をグローバルに展開しています。工場全体の水処理の状況を見える化することで、設備の安定操業や水・エネルギー利用の最適化に寄与します。

水処理薬品の製造

工場やビルで使われる4,000規格を超える水処理薬品を製造しています。ISO14001認証を取得して環境負荷低減の取り組みを徹底。食品工場などで使われる薬品の製造では専用ラインを設け、高いレベルの衛生管理と安全性を実現します。

世界4極体制の確立により、 世界をリードする水処理企業へと進化する

クリタグループはグローバルに総合ソリューションを提供していくため、事業基盤の強化を進めています。2015年のヨーロッパにおける水処理薬品事業の買収を皮切りに、米国の水処理薬品製造・販売会社の買収や、ベトナムとアラブ首長国連邦での海外事業拠点の設立、2018年以降は米国で水道分野におけるAI活用の先駆者であるベンチャー企業の子会社化や米国大手水処理企業の買収などを通じて、成長機会の拡大に注力しています。今後も日本、アジア、欧州、北南米の世界4極体制の確立を目指し、One KURITAとしてグローバルな事業展開を加速していきます。

TOPICS | 北米での事業展開を加速

2019年3月、米国の水処理薬品および装置の製造・販売会社であるU.S. ウォーターサービス、Inc.を買収しました。本買収により米国における当社グループの売上高は約4倍に拡大する見込みです。今後は既存の事業会社との協働により、水処理薬品・装置・メンテナンスサービスによる総合ソリューションの展開を拡大し、米国での事業成長スピードをさらに加速していきます。



海外事業

EUROPE

ヨーロッパ (中東地域を含む)

8カ国に事業拠点を設置し、ヨーロッパおよび中東地域まで広範囲に水処理薬品事業を展開しています。ボイラ薬品、冷却水薬品、プロセス薬品、RO薬品など幅広い商品ラインナップを活かした独自の特長ある技術を展開するとともに、販売網の拡充と生産能力の強化により、さらなる事業拡大を目指しています。

- A クリタ・ヨーロッパ GmbH
- B クリタ・フランスS.A.S.
- C クリタ・イベリアSL
- D クリタ・トルコA.S.
- E クリタ・スウェーデンAB
- F クリタ・ポーランドSP.z.o.o.
- G クリタ・ミッドイースト FZE
- H アビスタ・テクノロジーズ(UK)Ltd.

ASIA

アジア

中国・韓国の電子産業(半導体・液晶)をはじめ、東南アジア各国の自動車、食品、石油精製、製紙など、幅広い業種のお客様に向けたビジネスを展開しています。現地に根付いた強固な営業・サービス基盤を構築することでお客様の成長を支え、各国・各地域の事業展開をより一層強化しています。

- I 韓水Co.,Ltd.
- J 韓水テクニカルサービスLtd.
- K 栗田工業(大連)有限公司
- L クリタ(タイワン)Co.,Ltd.
- M クリタ-GKベトナムCo.,Ltd.
- N クリタ-GKケミカルCo.,Ltd.
- O クリタ・ウォーター(マレーシア)Sdn.Bhd.
- P クリタ(シンガポール)Pte.Ltd.
- Q PTクリタ・インドネシア
- R 栗田工業株式会社
- S フレメント・インダストリーズ, LLC
- T U.S. ウォーター サービス, Inc.
- U フラクタ
- V アビスタ・テクノロジーズ, Inc.
- W クリタ・ド・ブラジルLTDA.

JAPAN

日本

あらゆる産業のお客様に、薬品・装置および土壌・地下水浄化、各種分析などを融合した総合ソリューションを提供しています。顧客親密性を追求し、クリタグループ各社が一体となって新たな価値の創出を目指しています。

- R 栗田工業株式会社
- ※国内関係会社についてはP29をご参照ください

- 水処理薬品関連の事業会社
- 水処理装置関連の事業会社
- 研究開発関連の事業会社
- その他の事業会社

NORTH & SOUTH AMERICA

北南米

北米では、2017年のフレメント・インダストリーズ, LLCに引き続き、U.S. ウォーター・サービス, Inc.を買収し、薬品・装置双方の営業活動を強化しています。南米では約40年にわたりブラジルで水処理薬品の製造・販売を行い、鉄鋼、製紙、製糖などのお客様に密着し、事業拡大を図っています。

- S フレメント・インダストリーズ, LLC
- T U.S. ウォーター サービス, Inc.
- U フラクタ
- V アビスタ・テクノロジーズ, Inc.
- W クリタ・ド・ブラジルLTDA.

水を究め、 次世代の技術革新を生み出す

お客様と社会の課題を解決する新たな価値の創出に向け、その原動力となるのが研究開発です。技術立社として長年培ってきた水の技術をさらに磨き、次世代の技術革新につながる技術基盤を強化しています。オープンイノベーションの推進やIoT/AIなどの先進技術の活用により、新技術の開発や新事業の創出をスピーディーに行っています。

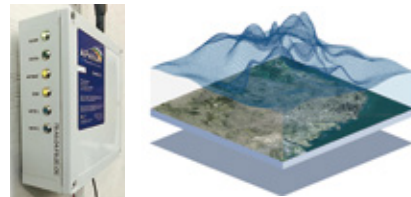
技術基盤の強化と開発の推進

クリタの強みである技術力を活かし、将来にわたり価値を提供していくために、技術基盤分野に流体・プロセス解析を加え、技術基盤の深耕、先進技術の開発、ソリューションの開発に取り組んでいます。



新事業の創出に向けて

クリタは、新事業の創出に向けて、様々な企業・パートナーとの協業を進めています。2016年12月には米国のアパナInc.へ出資し、同社が保有するIoT無線通信技術を活用した水使用量のモニタリングとビッグデータ解析に関する技術の適用を進めています。2018年5月には、米国で人工知能、機械学習を活用した水道管の劣化予測ソフトウェアサービスを展開するベンチャー企業フラクタを子会社化し、新たなデジタルビジネスの創出・拡大を図っています。



グローバルな研究開発体制

日本、ドイツ、シンガポールの3ヵ所に研究開発拠点を設け、世界に広がる技術と人材を活用し、地域特性や市場ニーズに合った商品・技術の開発に注力しています。各拠点の連携を強め、技術シナジーを発揮することで、グローバルな研究開発基盤を今後も拡充していきます。



研究開発

● クリタ開発センター

「水と環境の総合ソリューション技術」に関する最新鋭の研究開発拠点として、技術基盤の深耕から最新の商品・技術の開発、事業化までを行っています。環境に配慮した、地域と共生する開発施設を目指して、排水を再利用可能な水質まで処理し、リサイクルしており、水資源の有効利用にも貢献しています。



● クリタ・ヨーロッパ GmbH

ドイツのルートヴィヒスハーフェン、デュッセルドルフで水処理薬品の研究開発を行っています。ルートヴィヒスハーフェンは、紙プロセス薬品や冷却水薬品などの素材開発と合成技術の研究拠点であり、開発した素材の製造までを行っています。デュッセルドルフでは水処理薬品の研究開発を行うとともに、水質分析や処理効果評価の体制を整備しています。



● クリタR&DアジアPte.Ltd.

世界中で水資源の有効利用が求められている中、海水淡水化や下水・排水の回収・再利用を目的とした技術開発に注力しています。シンガポールの研究機関などとの協業を強化することで、最先端の技術情報をタイムリーに入手するとともに、現地における実証試験を通じて市場競争力の高い技術の開発に取り組んでいます。



TOPICS

オープンイノベーションの推進

クリタは、オープンイノベーションに積極的に取り組んでいます。2017年には、世界中から水処理関連企業・研究機関が集まるシンガポールにクリタR&DアジアPte.Ltd.を設立。水処理膜や水再利用技術の分野で現地の大学と共同研究を行うなど、産学官の連携を強化しています。自社にはない技術やソリューションを取り入れ、これまでにない新たな価値の創出を加速していきます。



CSRを経営の中核に位置付け、 企業理念の実現を目指す

クリタグループの企業理念「水」を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する」は、当社グループの事業活動が社会との共通価値の創造に帰結することを明示しています。私たちはこの企業理念に込められた社会への使命に基づき、CSRを経営戦略の中核として位置付けました。社会にとってなくてはならない存在となることを目指し、CSRの取り組みを推進していきます。

CSRに関する方針

2018年、クリタグループは、自社にとってのCSRの定義と取り組みの目的を整理した上で、7つの重点領域(マテリアリティ)を特定し、2030年におけるあるべき姿と堅持すべき取り組み姿勢を「CSRに関する方針」として定めました。

水と環境の問題にソリューションを提供し、未来への責任を果たす

	重点的に取り組むテーマ	2030年におけるあるべき姿、取り組み姿勢
基礎 テーマ	1 安全性の高いサービス・製品を提供する	安全、健康、環境に配慮したサービス・製品を開発、提供し、社会からの信頼を維持する。
	2 公正に事業を行う	自由競争に基づく公正で透明な取引を維持する。 また、政治、行政との健全かつ正常な関係を維持する。
	3 人権を尊重する	人権に関する国際規範を支持・尊重し、国連が定めた「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権尊重の取り組みを推進する。
成長機会 テーマ	4 水資源の問題を解決する	すべての人々の生活と、産業の発展に必要な水を、節水・浄化・再利用技術により確保し、それぞれに最適な水質・水量で提供する。
	5 持続可能なエネルギー利用を実現する	生活、産業におけるエネルギーの使用を最適化するとともに、エネルギーを創る技術を広く社会に普及させる。
	6 廃棄物を削減する	廃棄物を資源として活用する技術、廃棄物の発生量を抑制する技術を普及させ、廃棄物ゼロを目指す。
	7 産業の生産技術を進歩させる	水のビッグデータを駆使し、産業の生産効率と製品品質のイノベーションに貢献する。

社会との共通価値の創造に向けて

クリタグループは「CSRに関する方針」で定めた「成長機会テーマ」の4つを特に重要な経営課題と捉え、「社会との共通価値の創造」の実現に向けて取り組んでいます。創業以来、一貫して「水と環境」の分野で事業を展開してきた実績を活かし、社会全体で取り組むべき課題解決を実現していきます。

社会との共通価値を
創造する4つのテーマ

水資源の問題を解決する P07 持続可能なエネルギー利用を実現する P09
廃棄物を削減する P11 産業の生産技術を進歩させる P13

CSRの取り組み

「持続可能な社会の実現」に貢献し、社会からの信頼を得る企業グループとなるために、クリタグループの従業員一人ひとりが企業理念に基づくCSR活動に取り組んでいます。

環境改善活動

クリタ環境月間

環境改善活動への従業員の意識を高め、行動を促進することを目的に「クリタ環境月間」を毎年開催しています。2018年度は833名の従業員およびその家族が参加し、職場だけでなく、家庭や地域社会での取り組みについて、自らの「体験」や「モットー」を応募しました。



社会貢献活動

公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団の取り組み

クリタ水・環境科学振興財団は、1997年に栗田工業が基本財産を拠出し設立された公益財団法人です。水・環境に関する調査研究およびその国際交流に対し、助成その他の支援を行うことにより、自然と人間との調和を促進する社会の発展に貢献しています。主な取り組みとして、毎年日本やアジアの研究者を対象とした助成案件を公募しており、2018年度は、審査により決定された125件に対して助成を行いました。



次世代を担う人材育成

栗田工業(大連)有限公司は、2018年8月に上海支社にて従業員の子どもたちを対象にした水処理の仕事を模した化学実験や職場体験を実施し、将来を担う子どもたちの環境改善への意識向上を図りました。



水へのアクセス支援

紛争、貧困、あるいは利用可能な淡水資源の逼迫により、水の安全性に問題を抱える、社会的に弱い立場の人々への支援を目的に、主にアフリカ地域で活動を行っている特定非営利活動法人 日本紛争予防センターならびに特定非営利活動法人 WaterAid Japanに対して支援金を拠出しました。

災害被災地の支援

2018年9月にインドネシアで発生した地震とそれに伴う津波で被災された方々の生活を支援し、被災地の復旧に役立てていただくため、栗田工業およびPTクリタ・インドネシアは、合計10億インドネシアルピア(約760万円)の義援金を赤十字社を通じて拠出しました。

地域コミュニティ活動

クリタグループの事業拠点がある地域コミュニティとの共生を目指し、地域コミュニティの活性化につながる活動を実施しています。2018年度は、クリタ-GKケミカルにおいて地元の海の希少生物保護のための巣作り活動に参加したほか、各地域の環境美化活動を推進しました。



お客様と社会とともに これからも価値創出を目指していく

トピックス

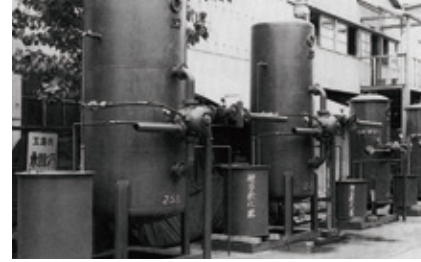
1949

戦後の復興をボイラ薬品で支える
栗田工業(株)を創立。大型船舶の汽缶技術を活用した水処理薬品(ボイラ薬品)の販売を開始。



1951

水処理装置事業へ進出
ボイラ給水の前処理をするための純水装置の販売を契機に、水処理装置分野へ進出。薬品・装置による総合的な水処理事業へと発展。



1973

電子産業を高純度の水で支える
半導体製造プロセスの微細化により、さらなる高純度の水が求められる中、超純水製造技術を開発。電子産業分野へ参入。



2002

超純水供給事業を開始
お客様に代わりクリタが設備を所有し、運転管理を行い、超純水を供給するというアウトソーシングビジネスを開始。



2003

排水の100%回収・リサイクルを実現
液晶パネル製造工場において、膜ろ過処理や生物処理などによる排水回収・再利用システムを用いた、製造工程排水の100%リサイクル化を実現。



2015

宇宙での水再生システムを開発
国際宇宙ステーションへの搭載を目指し、小型で省エネルギー、85%以上の水再生率を実現する次世代の水再生システムを開発。



沿革

1949
水処理薬品事業(ボイラ薬品)会社として栗田工業(株)を創立。

1951
汽缶給水研究所を設立。
1959
化学洗浄部門を分離し、(株)鈴木商会(現栗田エンジニアリング(株))を設立。

1961
水処理装置・施設のメンテナンス・サービス会社として、関西栗田整備(株)(栗田テクニカルサービス(株)の前身)を設立。

1975
ブラジルに水処理薬品の製造・販売を行うクリタ・ド・ブラジルLTDA.を設立。
1975
水処理施設・装置の運転管理会社として栗田水処理管理(株)(現(株)クリタス)を設立。

1978
東南アジアにおける水処理薬品・水処理装置事業の拠点となるクリタ(シンガポール)Pte.Ltd.を設立。

1986
インドネシアに水処理薬品の製造・販売を行うPTクリタ・インドネシアを設立。

1987
台湾に水処理薬品の製造・販売を行うクリタ(台湾)Co.,Ltd.を設立。

1989
欧州における水処理薬品の製造・販売拠点としてクリタ・ヨーロッパGmbHをドイツに設立。

1989
タイに水処理薬品の製造・販売を行うゴシュー・ケミカル社(現クリタ-GKケミカルCo.,Ltd.)を設立。

1995
中国における水処理薬品の製造・販売拠点として栗田工業(大連)有限公司を設立。

1996
アメリカに水処理装置の販売およびメンテナンス・サービスを行うクリタ・アメリカInc.を設立。

1997
栗田工業(株)が、メンテナンス・サービス事業を行う栗田テクニカルサービス(株)を合併。

1998
韓国において水処理装置の生産・販売およびメンテナンス・サービスを行う韓国テクニカルサービスLtd.に資本参加。

2001
土壤浄化に関わる総合コンサルティング会社であるランドソリューション(株)を設立。

2001
中国における水処理装置の輸入・販売およびメンテナンス・サービスの拠点として栗田超純水設備(上海)有限公司を設立。

2003
グループ各社の精密洗浄事業を統合し、クリテックサービス(株)を設立。

2003
グループ各社の分析部門を統合し、クリタ分析センター(株)を設立。

2004
中国における水処理装置の生産・販売拠点として栗田工業(蘇州)水処理有限公司を設立。

2005
開発拠点を統合し、クリタ開発センターを開発。

2009
水処理薬品の製造新会社として、クリタ・ケミカル製造(株)を設立。

2015
Israel Chemicals Ltd.よりBK Giulini GmbHの水処理薬品・紙プロセス薬品・アルミナ化合物の3事業を買収し、クリタ・ヨーロッパAPW GmbHを設立。

2016
クリタ・ヨーロッパGmbHとクリタ・ヨーロッパAPW GmbHが合併。
※合併後の社名はクリタ・ヨーロッパGmbH

2016
ポーランドに水処理薬品の販売を行うクリタ・ポーランドSP.z.o.o.を設立。

2017
米国の水処理薬品の製造・販売会社であるフレモント・インダストリーズ, LLCを買収。

2017
水処理薬品の販売会社として、クリタ-GKベトナムCo.,Ltd.(ベトナム)およびクリタ・ミドルイースト FZE(UAEアラブ首長国連邦)を設立。

2017
シンガポールに新たな研究開発拠点クリタR&DアジアPte.Ltd.を設立。

2017
持分法適用会社であった韓水Co.,Ltd.に追加出資し、子会社化。

2018
米国のベンチャー企業であるフラクタ, Inc.の株式を取得し、子会社化。

2019
米国の水処理薬品・装置の製造・販売会社であるU.S.ウォーター サービス, Inc.を買収。

2019
米国および英国のRO薬品の製造・販売会社であるアビスタ・テクノロジーズ, Inc.、アビスタ・テクノロジーズ(UK) Ltd.を買収。

1940 >

1950 >

1960 >

1970 >

1980 >

1990 >

2000 >

2010 >

事業展開

1949
ボイラ薬品販売を開始
創立者が大型船舶の汽缶技術を活用したボイラ薬品の販売を開始。

1953
化学洗浄事業を展開
薬品技術を適用し、ボイラ内部を清浄化する化学洗浄部門を新たに設置。
1958
メンテナンス・サービスを展開
水処理装置の安全運転およびアフターサービスの拡充を図るためメンテナンス・サービスの専門組織を設置。

1965
プロセス薬品へ事業拡大
大量の水を使用する紙パルプ・石油・鉄鋼分野において生産性を向上させる薬品を開発し、水処理分野から生産プロセスへと事業領域を拡大。

1986
精密洗浄事業を展開
電子産業分野で確立した販売網や化学洗浄で培った技術を活かして半導体製造装置に使われる部品・治具などを洗浄する事業に参入。

1991
土壤浄化事業を開始
土壤汚染問題が大きな社会問題となり、水処理で培った技術を活かし、土壤浄化事業を開始。

2001
土壤浄化に関わる総合コンサルティングを開始
土壤浄化の実績を活かし、汚染リスクのヘッジや浄化後の土地の円滑な売却へとつながるスキームを提供する事業を開始。

2013
新たな水処理管理サービス「S.sensing」を開始
水処理薬品事業において、IT・センシング技術でリアルタイムで最適な水処理を実現する「S.sensing」を開始。

2015
韓国において超純水供給事業を開始
韓国半導体メーカー向けに開始。

2018
水資源問題の解決に貢献する「再生水供給サービス」を開始
工場で発生する排水を回収し、再利用可能な水質まで浄化した水(再生水)を供給するサービスを開始。

沿革

栗田工業国内事業所

本社・支社・支店・センター・営業所

本社

〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパーク イースト
TEL：03-6743-5000

大阪支社

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-2-22
TEL：06-6228-4800

東北支店

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-12-30
TEL：022-225-6331

名古屋支店

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-5-11
TEL：052-203-2851

広島支店

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀3-33
TEL：082-221-4471

九州支店

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-1-1
TEL：092-472-0911

クリタ開発センター

〒329-0105 栃木県下都賀郡野木町川田1-1
TEL：0280-54-1511

エンジニアリングセンター

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-7-2
TEL：0422-29-6200

北海道営業所

〒066-0027 北海道千歳市末広6-4-4
TEL：0123-25-3450

酒田営業所

〒998-0043 山形県酒田市本町1-2-52
TEL：0234-26-7600

水戸営業所

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-6-13
TEL：029-231-9571

土浦営業所

〒300-0037 茨城県土浦市桜町1-16-12
TEL：029-835-8565

鹿島営業所

〒314-0144 茨城県神栖市大野原4-7-11
TEL：0299-92-3051

宇都宮営業所

〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7
TEL：028-637-7891

群馬営業所

〒370-0841 群馬県高崎市栄町16-11
TEL：027-326-0511

埼玉営業所

〒330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町2-5
TEL：048-886-5551

千葉営業所

〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町17-13
TEL：043-238-7441

京浜営業所

〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町1-1
TEL：044-211-7271

西東京営業所

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
TEL：042-512-6980

上越営業所

〒942-0003 新潟県上越市東町1-3
TEL：025-545-6605

新潟営業所

〒950-0088 新潟県新潟市中央区万代4-4-27
TEL：025-248-4645

北陸営業所

〒930-0094 富山県富山市安住町2-14
TEL：076-433-5561

長野営業所

〒380-0921 長野県長野市栗田1000-1
TEL：026-269-0021

諏訪営業所

〒392-0015 長野県諏訪市中洲5336-2
TEL：0266-58-9901

富士営業所

〒416-0954 静岡県富士市本市場町889-1
TEL：0545-62-8808

静岡営業所

〒436-0028 静岡県掛川市亀の甲1-18-3
TEL：0537-64-6600

滋賀営業所

〒520-3026 滋賀県栗東市下鉤913-1
TEL：077-599-3080

兵庫営業所

〒670-0961 兵庫県姫路市南畝町2-31
TEL：079-224-3250

岡山営業所

〒710-0826 岡山県倉敷市老松町2-7-2
TEL：086-423-7723

四国営業所

〒799-0405 愛媛県四国中央市三島中央3-15-12
TEL：0896-24-2331

大分営業所

〒870-0027 大分県大分市末広町1-1-18
TEL：097-529-6100

熊本営業所

〒862-0975 熊本県熊本市中央区新屋敷1-5-1
TEL：096-372-5611

宮崎営業所

〒880-0904 宮崎県宮崎市中村東3-4-46
TEL：0985-53-5900

水処理に関する相談窓口

〒0120-40-7474

駐在所

北上駐在所

〒024-0102 岩手県北上市北工業団地6-6
TEL：0197-62-7300

長柄駐在所

〒297-0235 千葉県長生郡長柄町皿木203-1
TEL：043-238-4511

茂原駐在所

〒297-0037 千葉県茂原市早野3550
TEL：0475-22-8931

綾瀬駐在所

〒252-1108 神奈川県綾瀬市深谷上8-27-1
TEL：0467-79-5391

石川駐在所

〒923-1201 石川県能美市岩内町1-47
TEL：0761-46-5648

白山駐在所

〒924-0021 石川県白山市竹松町2480
TEL：076-220-6241

事業所

静岡事業所

〒421-0302 静岡県榛原郡吉田町川尻1060
TEL：0548-33-1211

敦賀事業所

〒914-0027 福井県敦賀市若泉町1
TEL：0770-25-0389

四日市駐在所

〒512-8044 三重県四日市市中村町字塚谷2509-1
TEL：059-330-1186

亀山駐在所

〒519-0169 三重県亀山市白木町幸川464
TEL：0595-84-6467

堺駐在所

〒590-0908 大阪府堺市堺区匠町1
TEL：072-320-9200

鳥取駐在所

〒680-0843 鳥取県鳥取市南吉方3-117-2
TEL：0857-23-1588

広島駐在所

〒739-0036 広島県東広島市西条町田口一ツ橋710-71
TEL：082-425-2346

岩国駐在所

〒740-0018 山口県岩国市麻里布町3-16-22
TEL：0827-29-0126

豊浦事業所

〒759-6301 山口県下関市豊浦町川棚四の浜3911-2
TEL：083-774-1991

山口事業所

〒754-0894 山口県山口市佐山5-4
TEL：083-988-1251

会社概要

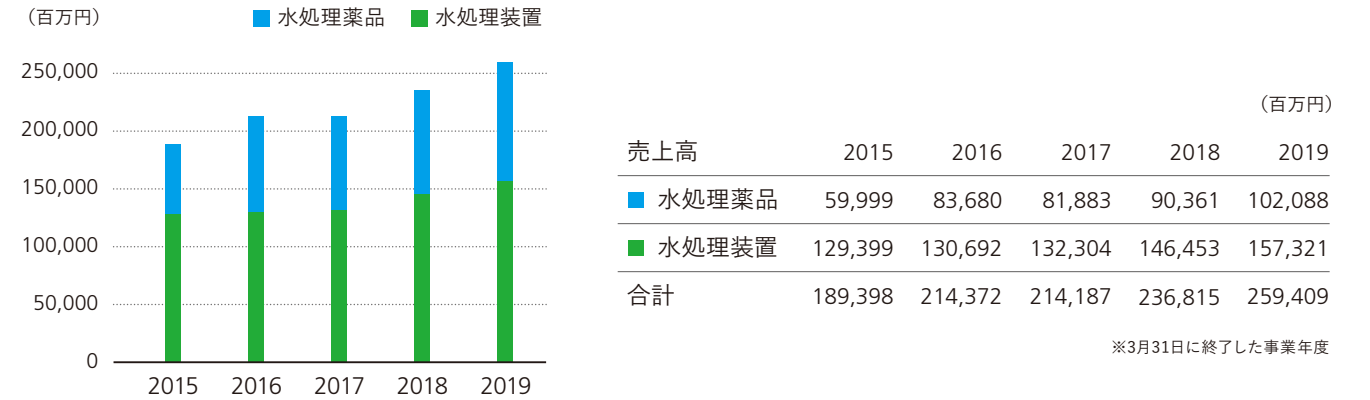
商号	栗田工業株式会社 (Kurita Water Industries Ltd.)	登録	
所在地	〒164-0001 東京都中野区中野4丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト	建設業許可 2015年7月25日 国土交通大臣許可 (特-27)第4647号	高圧ガス販売事業届出 2012年11月16日 東京都知事許可24 環改保高第6158号
代表取締役社長	門田 道也	建設業許可 2019年3月5日 国土交通大臣許可 (特-30)第4647号	高圧ガス販売事業届出 2003年1月24日 愛知県知事許可14 産技第56-29号
設立	1949年7月13日	測量業者登録 2014年10月16日 登録第(13)-1854号	毒物劇物一般販売業登録 (各営業所で登録)
資本金	13,450百万円	一級建築士事務所登録 2017年4月15日 東京都知事登録第12176号	電気通信事業届出 1990年2月14日 届出番号A-01-355
売上高	259,409百万円(連結2019年3月期) 131,558百万円(単体2019年3月期)	特例浄化槽工業届出 (各都道府県に届出)	土壌汚染対策法に基づく 指定調査機関 2015年4月1日 指定番号 2003-8-1039
決算期	3月31日	電気工事業届出 1994年2月28日 東京都知事届出第065505号	
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部		
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社		
従業員数	6,613名(連結) 1,549名(単体) 2019年3月31日現在		

株式

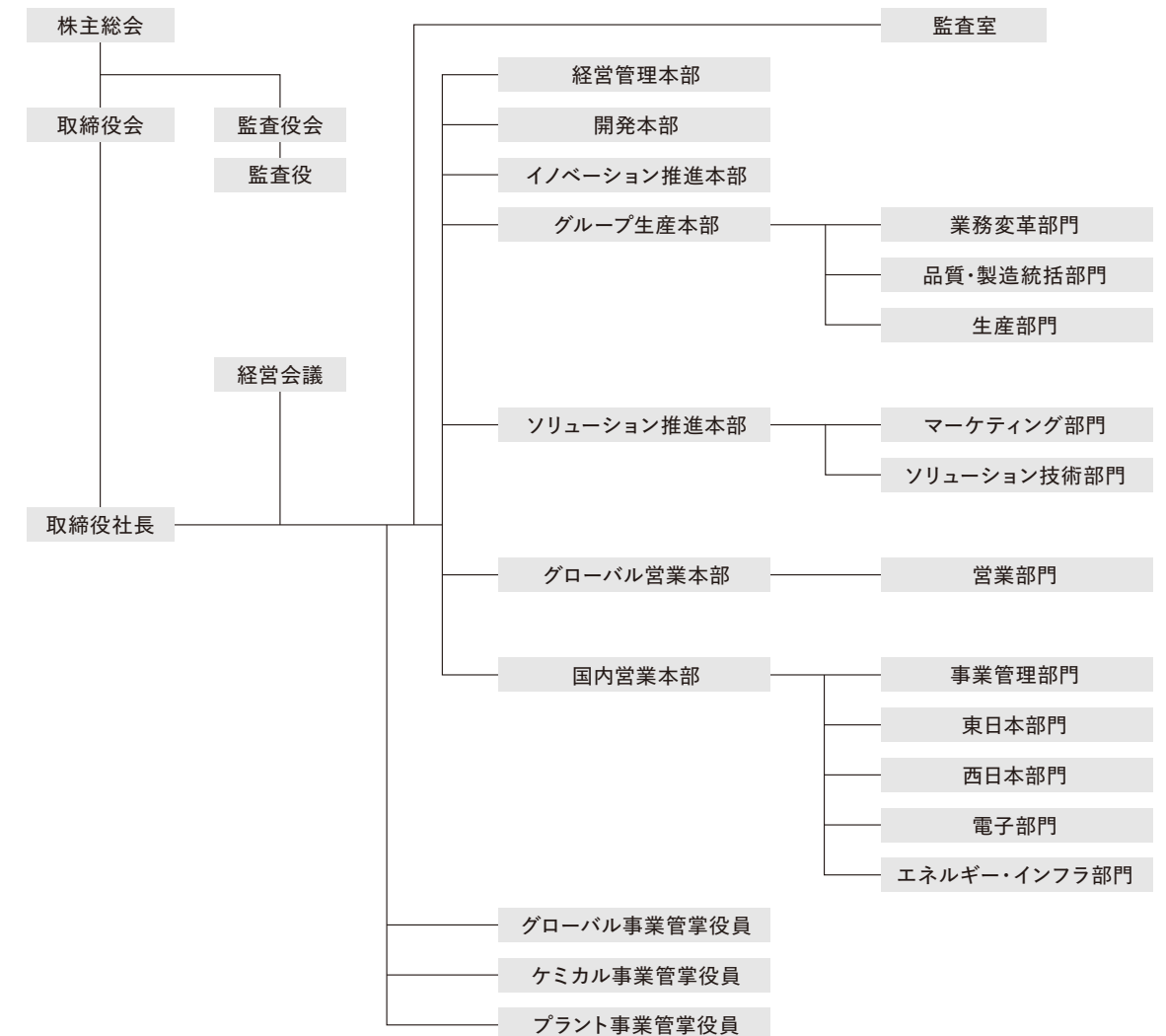
発行可能株式総数	531,000,000株
発行済株式総数	116,200,694株
株主数	23,476名
大株主	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 日本生命保険相互会社 栗田工業株式会社 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) ピーエヌワイエムエスエーエヌパイ ノン トリーティアー アカウント 東京海上日動火災保険株式会社 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) 株式会社三菱UFJ銀行 ジェーピー モルガン チェース バンク 385151

2019年3月31日現在

事業別売上高(連結)



組織図



2019年4月1日現在

栗田工業株式会社

東京都中野区中野4丁目10番1号
中野セントラルパーク イースト 〒164-0001
Tel : 03-6743-5000

<http://www.kurita.co.jp/>

※本会社案内で使用している商標(製品名・サービス名およびロゴ)は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。

